

## § クラス

### ■ クラスとは

フィールド(変数)とメソッド(関数)を併せ持つデータ型です

メソッド 一定の処理をまとめたブロックです  
引数と戻り値をもちます

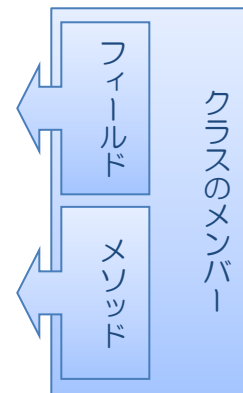
引数 メソッドを実行する時に、そのメソッドに渡す情報です  
仮引数と実引数があります  
・仮引数とは、メソッド側で値を受け取る変数です  
・実引数とは、メソッドを呼び出す時に渡す値です

戻り値 メソッドの実行後に、そのメソッドから渡される情報です  
return文を用いて戻します

return文 実行中のメソッドの処理を終了し、  
戻り値がある場合はそれを返します

### ■ 宣言

```
class クラス名{
    型 フィールド名;
    :
    戻り値の型 メソッド名(引数リスト){
        本体;
        return 式;
    }
    :
}
```



※この他、メンバーにはクラスやインタフェースの宣言を持たせることができます

### 書式

	引数あり	引数なし
引数リスト	該当の引数のリスト	「空欄」

	戻り値あり	戻り値なし
戻り値の型	該当の型	void
return 式;	return 式; ※式は、該当の型に一致	return; または「省略」

本体;                   メソッドの処理を記述します

直接メンバーへアクセスします (※A)

- フィールドへ → フィールド名
- メソッドへ    → メソッド名(引数リスト)

また、"自身のオブジェクトの中の"を明示して次のようにしても良いです

- フィールドへ → this.フィールド名
- メソッドへ    → this.メソッド名(引数リスト)

this.修飾子   自身のクラス型のオブジェクトへの参照としてメンバーにアクセスします

## § クラスの利用

- メンバーへアクセス
  1. クラスのオブジェクトを生成します
  2. オブジェクトを指定してメンバーへアクセスします (※B)
    - フィールドへ → オブジェクトを参照する変数.フィールド名
    - メソッドへ    → オブジェクトを参照する変数.メソッド名(引数リスト)

